

# 教育委員会の防災への取組

教育委員会では、地域の皆さまとの連携を図りながら、市民の安心・安全の確保を進めるため、様々な取組を行っています。今号では、その取組の一部を紹介いたします。

## 災害時帰宅困難児童・生徒への対策

教育委員会では、東京都帰宅困難者対策条例に基づき、災害時に想定される帰宅困難児童・生徒への対策を行っています。

災害時に、保護者が勤務先などに留まった場合、その間、学校において児童・生徒を保護することとなることから、学校における児童・生徒用の食糧等の備蓄が必要になります。

全市立小・中学校では、保存飲料水、携帯用保存食糧、アルミブランケット等を備蓄し、災害時に備えています。



保谷中学校の備蓄品

◆教育企画課 042(438)4070

## 公民館・図書館は一時滞在施設になります

震災時、公民館・図書館は、屋外で被災された方のうち、行き場のない帰宅困難者を一時的に収容する施設になります。

一時滞在施設として開設することが決定した場合、館内に残留している方には避難施設や福祉避難施設への移動をお願いする場合があります。移動にあたっては職員が誘導します。

市内の一時滞在施設は、以下のとおりです。

施設名
コール田無
南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」
谷戸公民館・図書館
芝久保公民館・図書館
柳沢公民館・図書館
保谷駅前公民館・図書館
ひばりが丘図書館
ひばりが丘公民館
合計(8箇所)



◆柳沢公民館 042(464)8211 ◆中央図書館 042(465)0823

## 避難所運営協議会の取組を紹介しす

各学校の避難所運営協議会では、地域の皆さまにご協力いただき、それぞれの地域の特性を生かした避難施設管理運営マニュアルを作成しています。そのマニュアルに基づいた、様々な取組を紹介しす。

### 田無第一中学校の取組

田無第一中学校避難所運営協議会では、5月7日(土)に本市に震度6の地震が発生したと想定し、避難所開設訓練を実施しました。

訓練では、①避難所開設の準備(施設の安全確保等) ②生徒を学校に留め置いて保護者への引き渡しを行う引き取り訓練 ③避難者名簿の作成訓練 を中心に行いました。

引き取り訓練では、約300人の保護者に協力していただきました。この日の訓練では、待機者の場所の確保、人の配置など、様々な課題が見えてきました。

今後も、田無第一中学校ではいざというときのための準備をしていきます。「避難者はお客ではありません」ので、避難者の方々の協力が必要です。今後ご理解・ご協力をお願いいたします。

◆田無第一中学校 042(462)2811



### 芝久保小学校の取組

芝久保小学校避難所運営協議会では、毎年、4回の会議を行っています。

昨年度は、教職員、保護者、地域の皆さままで避難所運営ゲーム(HUG)を行いました。また、学校で行っている引き取り訓練の際には、地域の方々に声を掛け、防災訓練を行いました。この訓練では、市の危機管理室の協力のもと、防災倉庫にある資材・機材の見学やアルファ米づくりの体験を行いました。

今年度は、昨年度の経験をもとに、学校、保護者、地域が一体となった防災訓練を予定しています。

※避難所運営ゲーム(HUG)とは・・・静岡県が開発した避難所運営シミュレーションゲーム。避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくか、模擬体験が出来ます。

◆芝久保小学校 042(463)2869

## 公民館で防災関連事業を実施しています

公民館では、日頃から、市民の皆さまに災害時に役立つ知識や、技術を身に付けられるよう、6館全てで防災関連事業を行っています。

昨年度は、地域のつながりや、各公民館の特长を取り入れた事業を実施しました。

保谷駅前公民館では、「親子で防災クッキング」と題し、日頃から備蓄しておく便利な食材を使った災害食調理体験講座を実施しました。災害に向けた食品の紹介や、ポリ袋を使った湯煎調理の方法などを親子で学びました。



親子で防災クッキングの様子

また、芝久保公民館では、アウトドア流防災ガイドのあんどうりすさんをお迎えして、子どもと一緒に学ぶ防災講座を開催しました。山や海での行楽時にも役立つグッズを紹介しながら防災術を学びました。

今年度も全6館で様々な防災講座を予定しています。講座の企画に役立てていきますので、災害に備えて知っておきたいことや、不安なことなどがありましたら、各公民館にお申し出ください。

◆柳沢公民館 042(464)8211

## 「防災」に関する図書の展示を行っています

図書館では、4月に発生した熊本の震災を受け、防災についての理解を深めていただくための展示を行っています。

実際に災害が起こった際、市内のどこに避難すればよいか分かるマップや、日頃からどのような準備をするべきかをまとめた実用的な本、地震のメカニズムを学べる本、防災教育に関する本など、防災に関する様々な本があります。

その中から選んだ本を、7月から、ひばりが丘図書館を皮切りに1箇月ごとに各館で展示しています。展示期間中は、普段最寄りの図書館に置いていない資料もご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。



ひばりが丘図書館での展示

◆中央図書館 042(465)0823